

岡山実験動物研究会報

第27号

2011年 5月

倉林 讓先生 日本実験動物学会功労賞受賞

あいさつ……………三谷 惠一……………1

特別講演要旨

マメジカの生理学的特性—原始的な反芻動物の形態・生理および習性—

……………福田 勝洋……………3

川崎医科大学医用生物センターにおける管理運営の現状

～微生物統御、衛生管理を中心として～

……………井上 真理子・三上 崇徳・小郷 哲・沖野 哲也・大熊 誠太郎……………8

両生類のように人間は再生できるようになるのか?……………佐藤 伸……………12

実験動物としてのウズラの有用性……………高橋 慎司・清水 明・川嶋 貴治……………16

賛助会員による講演要旨

マイナスイオンの効能効果とオーリラの開発と試験について……………長澤 通……………22

寄稿

雌マウス生殖器官における Runx3 の役割

……………土家 由起子・佐久間 敦子・竹内 栄・高橋 純夫……………26

転写因子 Pit-1 の下垂体外組織における発現と下垂体ホルモンの発現制御

……………谷内 秀輔・高橋 純夫・竹内 栄……………31

犬および猫の東洋医学的診断

……………竹内 裕司・今井 さくら・金山 知世・倉林 讓……………36

電磁波による生物生体に対するミコフ式・環境療法の研究(第二報)

……………石井 猛・木村 碩志・岡田 敏彦・延原 玲子・山村 勲……………41

カリフォルニア大学群における第1回 Global Health 学会について(第2報)

……………笹岡 香織・Jonna A. K. Mazet・Patricia Conrad・石井 猛……………45

施設めぐり

(独)放射線医学総合研究所 実験動物開発・管理課の紹介……………西川 哲……………46

岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門津島北施設

……………樺木 勝巳・高嶋 留美・松川 昭博……………52

研究会だより

第59回、第60回研究会、理事会報告……………56

参考資料……………63

会費に関する内規、会報投稿規程……………68

会員名簿……………69

組織・会則……………74

賛助会員による広告……………76

Okayama Association for Laboratory Animal Science

岡山実験動物研究会